

作成日:2020年07月10日

製品安全性データシート

1.【製品及び会社情報】

カタログ番号 8290200
 製品名 MALDI マトリックス HCCA ポーションド
 会社名 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
 住所 東京都港区赤坂4丁目15番1号
 連絡先 0120-8555-90
 使用上の制限 研究用試薬

2.【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	可燃性エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高压ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しない	
	自己反応性化学品	区分に該当しない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発燃性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	
	有機過氧化物	区分に該当しない	
	金属腐食性物質	分類できない	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入・蒸気)		分類できない	
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		区分2	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3(気道刺激性)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない		
環境に対する有害性	誤えん有害性	分類できない	
	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない	
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない	

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

- 安全対策
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 - 粉じん、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 - 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - 屋内又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 応急措置
- 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
 - 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。
 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 - 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
 - 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- 保管
- 換気の良い、冷暗所で保管すること。
 - 容器を密閉しておくこと。
 - 施錠して保管すること。
- 廃棄
- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3.【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学名または一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
2-シアノ-3-(4-ヒドロキシフェニル)アクリル酸	>95	28166-41-8	—	4-(4)-1354

4.【応急措置】

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合 眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
医師に連絡すること。

5.【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、CO2、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	棒状放水

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	十分な換気を心がける。 保護具の着用。 眼に入ったり、皮膚と接触しないこと。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	環境中に放出してはならない。 危険でなければ漏れを止める。

7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	技術的対策	『8. 曝露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 粉じん、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 皮膚と接触しないこと。 眼に入れないこと。
保管	接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	技術的対策	消防法の規制に従う。
	混触禁止物質 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 容器は密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 水気や湿気から保護すること。 施錠して保管すること。

8.【ばく露防止及び保護措置】

管理濃度	未設定
------	-----

許容濃度

日本産業衛生学会	未設定
ACGIH(TLV-TWA)	未設定
ACGIH(TLV-STEL)	未設定

保護具

呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

9.【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	淡黄色の粉末
臭い	特異臭
pH	データなし
融点／凝固点	240-250℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし

自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
溶解度(水)	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.【安定性及び反応性】

反応性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	危険な反応は起きていない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	強酸、無水酸化物
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素(NOx)、シアン水素

11.【有害性情報】

急性毒性	
経口(ラット LD ₅₀)	データ不足のため分類できない。
経皮(ウサギ LD ₅₀)	データ不足のため分類できない。
吸入(ラット LC ₅₀)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12.【環境影響情報】

生態毒性	
水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(慢性)	データなし
残留性・分解性	データなし
土壤中の移動性	データなし
生態蓄積性	データなし
オゾン層への有害性	該当しない

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14.【輸送上の注意】**国際規制**

国連番号	危険物として規制されていない。
国連品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

国内規制

陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
他の危険物のそばに積載しない。

15.【適用法令】

労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	劇物 (有機シアン化合物)
大気汚染防止法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
消防法	危険物非該当
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

16.【その他の情報】

参考文献

安全衛生情報センター モデル MSDS 情報データベース
NITE 総合検索
Regulation (EC) No. 1272/2008 (CLP 規制)

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における科学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。

改訂履歴 新規作成 2020年 7月10日